

輪換畑における新規導入作物の地下水位適性		
[要約] ゴマならびにアワの収量からみた適地下水位は40cm以下、アマランサスおよびエゴマは50cm以下である。		
農業総合センター農業研究所	成果 区分	技術参考

### 1．背景・ねらい

茨城県において、輪換畑の大豆、麦類は本作として位置づけられ、本県においても主要作物として推進されているが、地域により収量、品質が不安定となっている。そのため、水田地帯の複合経営を今後とも拡大していくために、輪換畑への新規導入作物が期待される作物について、その地下水位適性について検討した。

### 2．成果の内容・特徴

- 1 ) ゴマは、目標収量12kg/aを達成するには地下水位が40cm以下である(図1)。
- 2 ) アマランサスは、目標収量25kg/aを達成するには地下水位50cm以下である(図1)。
- 3 ) エゴマは、目標収量10kg/aを達成するには地下水位60cm以下である(図1)。
- 4 ) アワは、目標収量15～20kg/aを達成するには地下水位40cm以下である(図1)。

### 3．成果の活用面・留意点

- 1 ) 本試験は、県南地域における結果である。
- 2 ) 本試験は、傾斜畑における試験結果である。
- 3 ) 対象薬剤がないため病害虫の発生には注意する。害虫の発生が見られたら速やかに手取りでの防除が必要である。

#### 4. 具体的データ

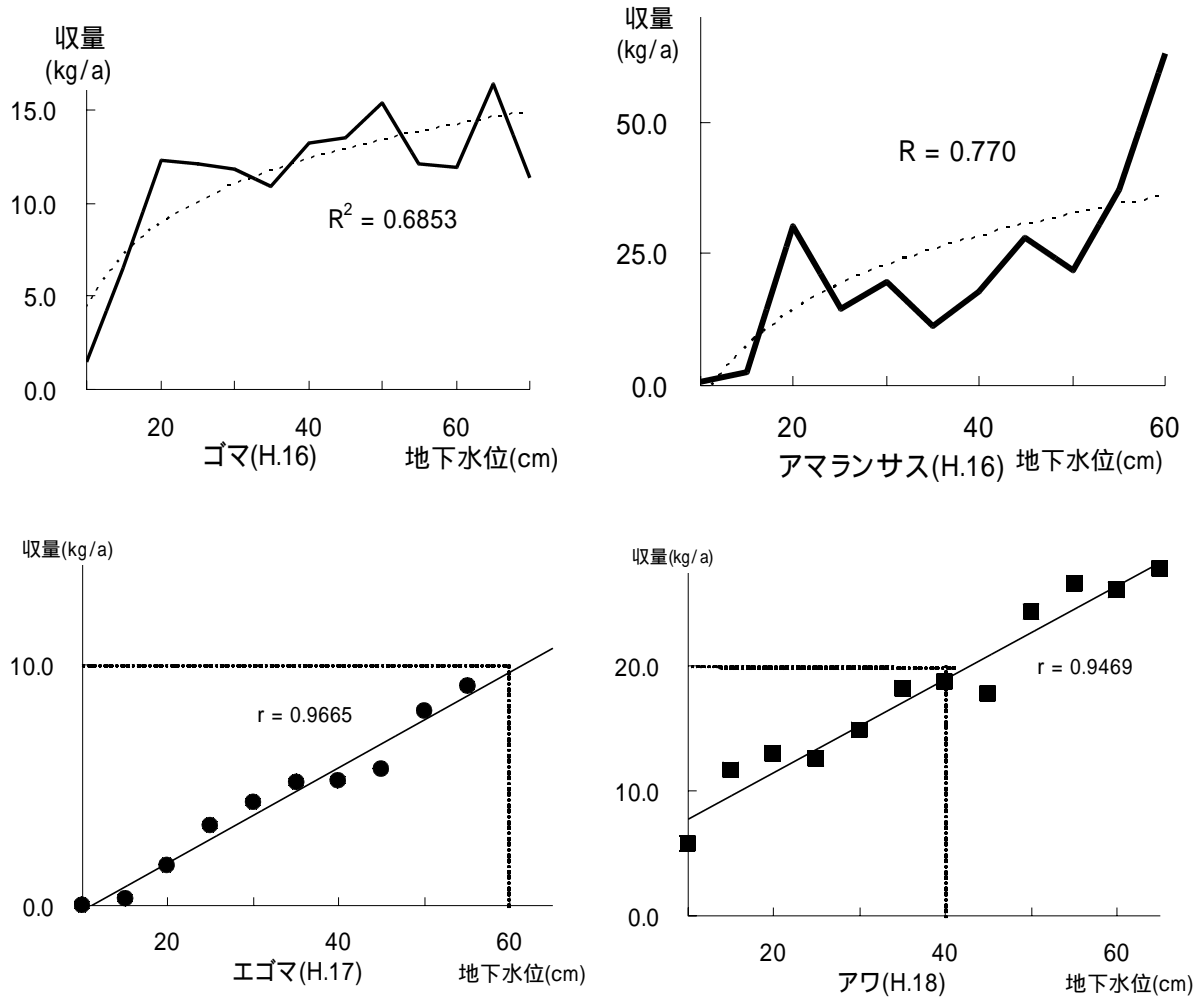


図1 地下水位と新規導入作物の収量の関係

ゴマ：播種期5/28、成熟期8/27、入水日6/15 N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=0.5:0.5:0.5(kg/a)  
 アマランサス：播種期5/6、成熟期8/13、入水期、6/15 N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=0.5:0.5:0.5(kg/a)  
 エゴマ：播種期6/10、移植期7/19、成熟期9/28、入水日8/1 N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=0.3:0.3:0.3(kg/a)  
 アワ：播種期6/27、収穫期9/21 入水期8/3 N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=0.4+0.2:0.9:0.7(kg/a)

図中の点線は各作物の目標収量である。

#### 5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

転換畑における新規導入作物の選定とブロックリーの新栽培技術の確立・平成16～平成18年度・水田利用研究室